



平成28年4月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年9月9日

上場取引所 東

上場会社名 アゼアス株式会社

コード番号 3161 URL <http://www.azearth.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 黒田 良

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員総務経理部部长

(氏名) 羽場 恒彦

TEL 03-3865-1311

四半期報告書提出予定日 平成27年9月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年4月期第1四半期の連結業績(平成27年5月1日～平成27年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年4月期第1四半期	2,200	△5.7	△50	—	△47	—	△25	—
27年4月期第1四半期	2,332	14.9	22	21.9	23	13.0	18	346.4

(注) 包括利益 28年4月期第1四半期 △6百万円 (—%) 27年4月期第1四半期 28百万円 (13.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年4月期第1四半期	△4.37	—
27年4月期第1四半期	3.02	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年4月期第1四半期	7,713	5,245	68.0
27年4月期	7,918	5,338	67.4

(参考) 自己資本 28年4月期第1四半期 5,245百万円 27年4月期 5,338百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年4月期	—	0.00	—	10.00	10.00
28年4月期	—	—	—	—	—
28年4月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年4月期の連結業績予想(平成27年5月1日～平成28年4月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
第2四半期(累計)	5,230	6.9	34	△53.5	36	△52.8	29	△59.9
通期	10,740	4.0	136	△21.7	140	△22.4	91	△18.3

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年4月期1Q	6,085,401 株	27年4月期	6,085,401 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

28年4月期1Q	155,096 株	27年4月期	110,096 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年4月期1Q	5,934,376 株	27年4月期1Q	6,063,605 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しておりますが、この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
3. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	p. 8
(セグメント情報等)	P. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業業績や雇用環境に改善が見られ、引き続き緩やかな回復基調が続きましたが、中国等アジア諸国の経済成長の鈍化、原油価格の低迷など、不安定な状況がみられ、景気は依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような環境下、当第1四半期連結累計期間においては、主力事業であります防護服・環境資機材事業においては、増収増益となりましたが、たたみ資材事業をとりまく環境は引続き厳しく、またアパレル資材事業においても当初計画の売上を確保することができなかつたため、当第1四半期連結累計期間の売上高は、2,200百万円(前年同四半期比5.7%減)、営業損失は50百万円(前年同四半期は営業利益22百万円)、経常損失は47百万円(前年同四半期は経常利益23百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は25百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益18百万円)となり減収減益となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

防護服・環境資機材事業におきましては、官公庁関連の大口需要への対応準備を進める一方、一般産業向け需要に注力しました。この結果、売上高は928百万円(前年同四半期比14.7%増)、セグメント利益(営業利益)は50百万円(前年同四半期比7.3%増)となり増収増益となりました。

たたみ資材事業におきましては、前期顕著であった消費税増税に伴う駆け込み需要の反動の影響が長引いており、需要の低迷が続いているため、売上高は341百万円(前年同四半期比17.7%減)、セグメント利益(営業利益)は2百万円(前年同四半期比82.1%減)と、減収減益になりました。

アパレル資材事業におきましては、中国及びASEANでの案件への対応が十分にはできず、売上高は810百万円(前年同四半期比3.9%減)、セグメント利益(営業利益)は23百万円(前年同四半期比50.6%減)となり減収減益となりました。

なお、報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用は99百万円であります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて4.6%減少し、5,787百万円となりました。これは、主として現金及び預金が310百万円減少したためであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて3.9%増加し、1,926百万円となりました。これは、主としてアゼアスデザインセンター秋田新設に向けた土地の取得等で有形固定資産が39百万円増加、保有株式の株価上昇による投資有価証券の増加等で投資その他の資産が24百万円増加したためであります。

この結果総資産は、前連結会計年度末に比べて204百万円減少し、7,713百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて3.1%減少し、1,975百万円となりました。これは、主として賞与引当金が29百万円減少、未払法人税等が23百万円減少したためであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて9.0%減少し、493百万円となりました。これは、主として社債が40百万円減少したためであります。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1.7%減少し、5,245百万円となりました。これは、主として配当と親会社株主に帰属する四半期純損失で利益剰余金が85百万円減少し、その他の包括利益累計額が19百万円増加したためであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年4月期の連結業績予想につきましては、平成27年6月10日に公表いたしました連結業績予想に変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、
当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額ははありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,130,624	1,819,829
受取手形及び売掛金	2,727,457	2,646,978
商品及び製品	878,813	968,594
原材料	219,684	214,037
その他	129,349	160,231
貸倒引当金	△22,339	△22,591
流動資産合計	6,063,589	5,787,080
固定資産		
有形固定資産	1,337,768	1,376,987
無形固定資産	115,700	124,321
投資その他の資産		
投資有価証券	242,707	266,821
保険積立金	99,567	100,024
その他	64,468	66,202
貸倒引当金	△5,582	△7,883
投資その他の資産合計	401,161	425,163
固定資産合計	1,854,630	1,926,472
資産合計	7,918,220	7,713,552
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,653,005	1,664,168
短期借入金	13,700	13,700
1年内償還予定の社債	80,000	80,000
未払金	35,220	54,203
未払法人税等	31,362	8,090
賞与引当金	63,852	34,700
その他	160,854	120,151
流動負債合計	2,037,994	1,975,013
固定負債		
社債	235,000	195,000
退職給付に係る負債	168,415	160,944
役員退職慰労引当金	111,740	101,850
繰延税金負債	26,696	35,479
固定負債合計	541,852	493,273
負債合計	2,579,847	2,468,287

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年7月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	887,645	887,645
資本剰余金	1,096,906	1,096,031
利益剰余金	3,219,257	3,133,568
自己株式	△60,317	△86,511
株主資本合計	5,143,491	5,030,734
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	78,689	93,436
為替換算調整勘定	116,191	121,094
その他の包括利益累計額合計	194,881	214,530
純資産合計	5,338,373	5,245,265
負債純資産合計	7,918,220	7,713,552

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年5月1日 至平成26年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年5月1日 至平成27年7月31日)
売上高	2,332,208	2,200,402
売上原価	1,901,969	1,817,622
売上総利益	430,239	382,779
販売費及び一般管理費	408,129	433,735
営業利益又は営業損失(△)	22,109	△50,956
営業外収益		
受取利息	170	207
受取配当金	2,862	2,509
受取賃貸料	677	120
その他	1,308	1,208
営業外収益合計	5,019	4,045
営業外費用		
支払利息	871	650
社債発行費	2,863	-
その他	72	278
営業外費用合計	3,807	929
経常利益又は経常損失(△)	23,320	△47,840
特別利益		
固定資産売却益	-	8,247
特別利益合計	-	8,247
特別損失		
固定資産除却損	12	31
減損損失	91	37
投資有価証券評価損	-	526
特別損失合計	103	594
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	23,217	△40,186
法人税、住民税及び事業税	5,861	2,883
法人税等調整額	△994	△17,134
法人税等合計	4,866	△14,250
四半期純利益又は四半期純損失(△)	18,350	△25,936
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会 社株主に帰属する四半期純損失(△)	18,350	△25,936

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年5月1日 至平成26年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年5月1日 至平成27年7月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	18,350	△25,936
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13,651	14,746
為替換算調整勘定	△3,805	4,903
その他の包括利益合計	9,846	19,649
四半期包括利益	28,197	△6,286
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	28,197	△6,286
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成26年5月1日 至 平成26年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	防護服・ 環境資機材	たたみ 資材	アパレル 資材	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	809,714	415,347	843,612	2,068,674	263,533	2,332,208	—	2,332,208
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	131	—	518	650	19,771	20,421	△20,421	—
計	809,845	415,347	844,131	2,069,325	283,305	2,352,630	△20,421	2,332,208
セグメント利益	46,656	15,361	47,537	109,555	4,204	113,759	△91,650	22,109

(注) 1 「その他」の区分は中国子会社であります。

2 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引に関わる調整額△866千円、及び、報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用△90,783千円であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成27年5月1日 至 平成27年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	防護服・ 環境資機材	たたみ 資材	アパレル 資材	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	928,948	341,641	810,543	2,081,134	119,267	2,200,402	—	2,200,402
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	427	—	721	1,149	45,374	46,524	△46,524	—
計	929,376	341,641	811,265	2,082,284	164,642	2,246,926	△46,524	2,200,402
セグメント利益 又は損失(△)	50,074	2,756	23,480	76,311	△26,933	49,378	△100,335	△50,956

(注) 1 「その他」の区分は中国子会社であります。

2 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引に関わる調整額△792千円、及び、報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用△99,542千円であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。